

働き方改革通信😊

No. 3 0 令和6年(2024年)12月13日発行
発行：函館市教育委員会学校教育部
教育政策推進室教育政策課 TEL: 21-3523
gakko-keikaku@city.hakodate.hokkaido.jp

時間外在校等時間（4月～9月）の状況

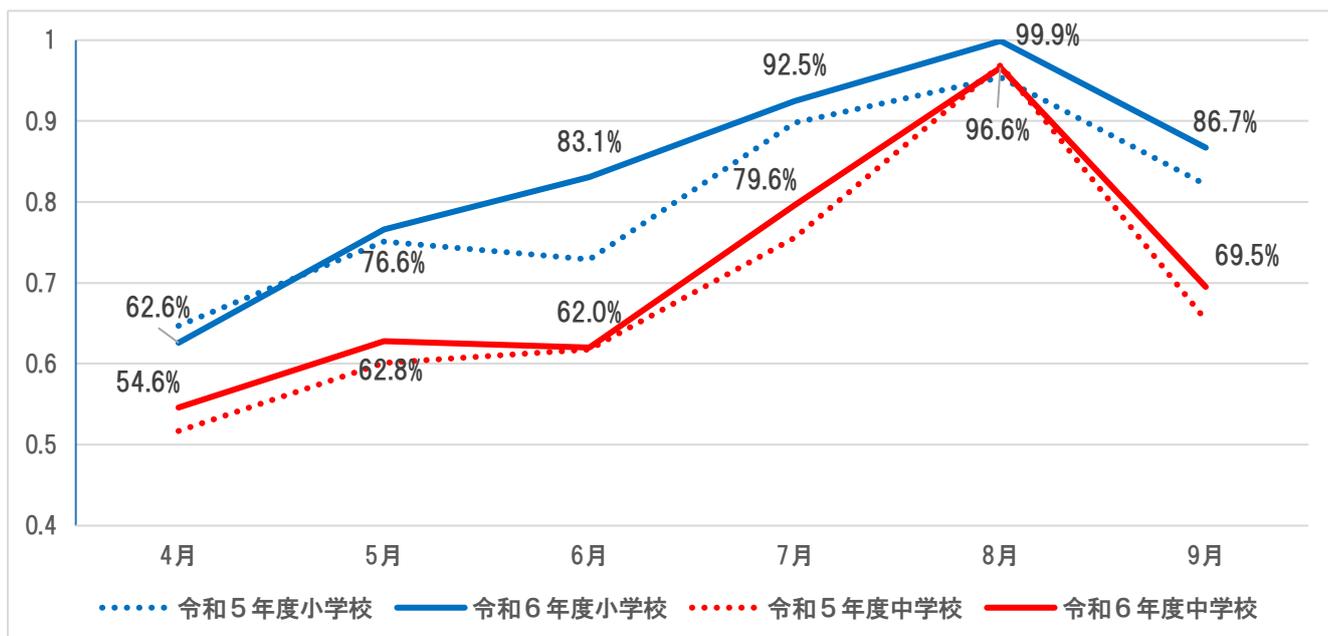
函館市教育委員会では、学校における働き方改革により、教職員自身がこれまでの働き方を見直し、子どもたちと向き合う時間や自らの学びを深めるための時間を確保し、学校が「働きやすさ」と「働きがい」を両立する職場となるよう、「教職員の業務改善のための取組」を定め、取組を進めています。

今年度の上半期（4月から9月まで）の時間外在校等時間の実績を集計しましたので、お知らせします。単純な比較はできませんが、昨年度と比べ、今年度は全体的に月45時間以内の教員の割合が増加しています。なお、グラフには掲載していませんが、幼稚園では昨年度同様、すべての月で100%、高等学校では昨年度と比べ、6月から9月で月45時間以内の教員の割合が増加しています。

各学校においては、集計結果を参考に、自校の状況や取組を改めて検証し、効率的・効果的な業務改善を進めていただくようお願いします。



月45時間以内の教員の割合の推移（月別）



全国の学校における働き方改革事例集について

学校が抱える課題の複雑化・困難化が進んでいる中において、業務負担を軽減し、教育の質を高めるためには、教師を取り巻く環境を見直し、時代の変化に合わせて学校現場における業務の在り方をリニューアルしていくことが必要となります。令和5年3月に改訂された文部科学省「全国の学校における働き方改革事例集」には、「取組事例」と取組に対する「インタビュー」のほか、「働き方改革チェックシート」等、業務改善の具体的な方法が掲載されております。

函館市内の学校においても、各学校が工夫をして、標準授業時数や日課表の見直しや学校行事の精選、ICTの活用による校務効率化の推進など、様々な取組が進められております。

学校や地域の実情を踏まえながら、改めて働き方事例集を参考にしてください。

文部科学省
「全国の学校における働き方改革事例集」

